

第2学年〇組 国語科学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

1 単元 お話を読んで、しょうかいしよう「お手紙」

2 本単元の指導にあたって

○児童観

本学級の児童は、これまで、「スイミー」の学習を通して、挿絵を手がかりに登場人物の様子や言動を表す言葉に着目して、場面の様子を想像する読みの力を身に付けている。また、登場人物に向けて自分の思いを伝えていく学習経験も行ってきている。そこで、既習の読み方や経験を基に、登場人物の様子や言動から場面の様子を想像し、語彙を豊かに表現することができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、それぞれの場面ごとのかえるくんの様子や行動の理由について読み取ることで、かえるくんの人物像を捉えることができるようにしたり、登場人物を紹介するプロフィールカードに表現したりすることができるようにする。このことは、登場人物の様子や言動を基に課題を見出し、具体的に想像し、行動の理由まで深く読み取る子どもを育てる上からも意義深い。

○教材観

本教材においては、友達の不幸せをいっしょに悲しみ、幸せを共に喜ぶほのぼのとした友情を描いた心温まる二人の姿から、2年生なりに、相手を思いやる友達関係のすばらしさを見つめるきっかけを与えてくれる価値がある。また、がまくんとかえるくんの行動は、前場面の出来事を受けて順序良く展開されていくため、前場面と現場面の行動や会話、様子をつながげながら想像をふくらませることができ、なぜ2人は、お手紙が届くと分かっているのに、待ち続けるのかとの疑問について、読み深めていく原動力を与えてくれる。

本単元に関しては、挿絵を手掛かりに登場人物の様子や言動に着目して、場面の様子を想像する学習をしてきている。本単元では、これらの上に立って、各場面のがまくんに対するかえるくんの言動や様子、かえるくんの人物像を読み取ることをねらいとしている。このことは、第3学年での登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉え、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像する「ちいちゃんのかげおくり」の学習に発展していく。

○指導観

本単元の指導においては、かえるくんは、どんな人物なのかという学習課題のもと、各場面の様子や言動を基に想像することで、かえるくんの人物像を読み取ることができるようにしたい。そのために、各場面のがまくんを思いかえるくんの様子や言動から、かえるくんの人物像を読み取るという課題をパターン化し、自分の力で設定できるようにするとともに、叙述を根拠に人物像について、考えを形成する活動、人物像を交流して、更新しプロフィールにまとめる活動を構成する。

特に本時では、かたつむり君にお手紙を託したかえる君の行動の理由について、想像を広げ、読み取ることができるようにしたい。そのために、まず「三輪小スタンダードであう段階」のパターン②「変化との提示」を活用し、新たにバッタくんを登場させ、今まで読み取ったかえるくんの人物像を基に、なぜ、かえるくんは、かたつむりくんに配達を頼んだのか考えられるようにする。次に、「三輪小スタンダードつくる段階」では、自分が、かえるくんの立場なら、かたつむり君とバッタ君のどちらにお手紙を託すか、これまでの出来事とつないで、理由を考えることができるようにする。そして、「三輪小スタンダードふかめる段階」においては、1場面のがまくんの悩みから、かえるくんの行動の理由を想像して交流することで、自分の考えを再構築することができるようにする。最後に、「三輪小スタンダードふりかえる段階」において、本時学習を振り返り、自分の言葉でまとめて交流することで、自分の力で、なぜかえるくんがかたつむりくんに配達を頼んだ理由を考えることができた達成感を味わわせ、学び方をふりかえることで、学びの自覚をすることができるようにする。

3 目標

- (1) 会話文において、主語と述語の関係をとらえ、言葉の響きや軽快な2人の掛け合いが、あらわれるよう音読することができる。(知識及び技能)
- (2) がまくんとかえるくんの交わす言葉の響きや前場面の出来事を受けて変化した行動文や会話文に着目し、自分の生活体験と重ねながら、各場面のかえるくんの人物像について、読み取ったことをプロフィールに表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 教材文「お手紙」に関心を持ち、がまくんとかえるくんの様子の変化について、意欲的に行動の理由を追及したり、考えを発表したりしながら、二人の心の交流を味わおうとする。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画(総時数 12時間) 本時⇒●

次	学習活動・内容	主眼	三輪スタの活用方法
一 ③	①挿絵を比較することを通して、登場人物の変化に気づき、感想を持つ。	○挿絵を比較することを通して、がまくんとかえるくんの様子がなぜ変化していったのかを考え、思ったことを書くことができる。	三輪スタ(であう②) ・がまくんとかえるくんが玄関の前で悲しそうに手紙を待つ挿絵とがまくんとかえるくんが寄り添って手紙を待つ挿絵を比較することによって、その変化の理由、がまくんとかえるくんの関係性への関心を高めることができるようにする。
	②感想を交流することを通して、学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。	○感想を交流し、かえるくんのやさしさについて紹介するための学習計画を立て、見通しを持つことができる。	三輪スタ(ふかめる) ・前時に、かえるくんのやさしさに着目しながら書いた感想を交流することによって、かえるくんのやさしさに気づき、学習の見通しを持つことができるようにする。
	「お手紙」のかえるくんは、どんな人物なのか読みとり、しょうかいしよう。		
	③お話の流れを場面ごとに整理することを通して、大体の内容をとらえる。	○登場人物のしたことや出来事を中心にお話の流れを場面ごとに整理し、お話の大体の内容をとらえることができる。	三輪スタ(つくる) ・大事なキーと全場面の挿絵を提示することによって、登場人物とお話の大体の内容を理解することができるようにする。
二 ⑥	④1場面のかえるくんの様子や言動を考えることを通して、かえるくんがどんな人物像なのかを読み取る。	○がまくんの気持ちに寄り添い、一緒に玄関の前に腰を下ろすかえるくんの様子や言動から、かえるくんの人物像を読み取ることができる。	三輪スタ(つくる) ・大事なキーと記述型を提示し、がまくんに対するかえるくんの言動から、想像することによって、がまくんの気持ちに寄り添うかえるくんを読み取ることができるようにする。
	⑤2場面のかえるくんの言動や様子を通して、かえるくんがどんな人物像なのかを読み取る。	○がまくんに手紙を届けようとするかえるくんの様子や言動から、かえるくんの人物像を読み取ることができる。	三輪スタ(つくる) ・大事なキーと記述型を提示し、がまくんに対するかえるくんの言動から、想像することによって、がまくんのなやみを解決しようとするやさしいかえるくんを読み取ることができるようにする。
	⑥3場面のかえるくんの言動や様子を通して、かえるくんがどんな人物像なのかを読み取る。	○がまくんを元気づけようと働きかけたかえるくんの様子や言動から、かえるくんの人物像を読み取ることができる。	三輪スタ(つくる) ・大事なキーと記述型を提示し、がまくんに対するかえるくんの言動から、想像することによって、がまくんを説得するかえるくんを読み取ることができるようにする。
	⑦4場面のかえるくんの言動や様子を通して、かえるくんがどんな人物像なのかを読み取る。	○一刻も早くがまくんに喜んでもらうために、手紙を書いたことを伝えたかえるくんの様子や言動から、かえるくんの人物像を読み取ることができる。	三輪スタ(つくる) ・大事なキーと記述型を提示し、がまくんに対するかえるくんの言動から、想像することによって、がまくんの喜ぶ顔が見たいかえるくんの人物像を読み取ることができるようにする。
	⑧5場面のかえるくんの言動や様子を通して、かえるくんがどんな人物像なのかを読み取る。	○四日間もがまくんと一緒に手紙がくることを待っていたかえるくんの様子や言動から、かえるくんの人物像を読み取ることができる。	三輪スタ(つくる) ・大事なキーと記述型を提示し、がまくんに対するかえるくんの言動から、想像することによって、がまくんとしあわせな気持ちになるかえるくんの人物像を読み取ることができるようにする。

	⑨かたつむりくんにお手紙を託したかえるくんの行動の理由を読み取る。	●かたつむり君にお手紙を託したかえる君の行動の理由について、叙述を元に想像を広げ、読み取ることができる。	三輪スタ（つくる） ・かたつむりくんに託した場合とばったくんに託した場合を比較したり、1場面のがまくんのなやみとつなげて思考したりすることで、かたつむりくんに託したかえるくんの行動理由の読み取りを深めることができる。
三 ②	⑩かえるくんのプロフィールをつくるために、各場面のかえるくんの人物像を深める。	○友達の考えを元に、自分のかえるくんの人物像を深めることができる。	三輪スタ（ふかめる） ・友達と交流活動を行うことによって、自分のかえるくんの人物像を深めることができる。
	⑪かえるくんの人物像についてのまとめを元に、かえるくんプロフィールをかく。	○かえるくんの人物像や叙述を元に想像したことから、かえるくんプロフィールをかくことができる。	三輪スタ（ふかめる） ・前時で深めた自分のかえるくんの人物像を確かめることによって、かえるくんプロフィールをかくことができる。
四 ①	⑫かえるくんの人物像から、これからの自分に繋げた考えを書く。	○各場面のかえるくんの人物像を振り返り、がまくんを思うかえるくんの言動から、これからの自分に繋げた考えを書くことができる。	三輪スタ（ふりかえる） ・各場面のがまくんの気持ちメーターを元に、かえるくんの人物像を振り返ることによって、これからの自分に繋げた考えを書くことができる。

5 本時の授業評価指標（ルーブリック）

三輪スタンダードで重視する段階（つくる）			
かたつむりくんに託した場合とばったくんに託した場合を比較したり、1場面のがまくんのなやみとつなげて思考したりすることで、かたつむりくんに託したかえるくんの行動理由の読み取りを深めることができる。			
評価項目	C	B	A
ねらいの達成状況	ばったくんにたくすよさを書くことができる。	ばったくん、かたつむりくんのいずれかにたくすよさを出来事とつなげて書くことができる。	ばったくんとかたつむりくんの両方のよさが出来事とつなげて書くことができる。
目指す子どもの姿（発言・行動など）	①ばったくんにお手紙をわたすと、早く届くからいいと思います。（発言・記述）	①ばったくんにお手紙をわたすと、早く届くからいいと思います。（発言・記述） ②ばったくんにお手紙をわたすとはやくて、まつ時間がふしあわせながまくんをよろこばせることができるからです。（発言・記述）	①手紙をわたすと、早く届くからいいと思います。（発言・記述） ②手紙をわたすとはやくて、まつ時間がふしあわせながまくんをよろこばせることができるからです。（発言・記述） ③手紙をわたすとはやくて、まつ時間がふしあわせながまくんをよろこばせることができるからです。かたつむりくんにお手紙をわたすとゆっくりだけど、二人でお手紙をまつしあわせな時間がながくなるからです。（発言・記述）

評定	評定の根拠	代案

6 本時案

(1) 主眼

- 配達役をばったくんに託した場合と比較したり、1場面のがまくんの悩みとつなげて思考したりしながら、かたつむり君にお手紙を託したかえる君の行動の理由について、想像を広げて読み取ることができる。

(2) 日時 令和2年10月30日(金) 第5校時 於：第2学年〇組教室

(3) 学習の展開 (45分)

	主な学習活動と内容	三輪スタの工夫	分
であう	<p>1 かたつむりくんに手紙を託す行動への疑問を共有し、本時学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>かたつむりくんがいい。 ・届くのをゆっくり待つ方がいい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>バッタくんがいい。 ・早くがまくんが喜ばせられる。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>なぜ、かえるくんは、かたつむりくんに、はいたつをたのんだのだろう。</p> </div>	<p>○新たなバッタ君を登場させて、手紙を託した理由を考えさせることで、かえるくんの立場で、本時学習のめあてをつかむことができるようにする。</p>	⑦
つくる	<p>2 自分が、かえるくんの立場なら、かたつむり君とバッタ君のどちらにお手紙を託すか、これまでの出来事とつないで、理由を考える。考えをつくる活動</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【かたつむりくんがいい】 ・しあわせな時間が4日もつづくから。 ・二人で、とてもしあわせな時間をすごしたかったから。</p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【バッタくんがいい】 ・お手紙を出したその日に、がまくんに届くから。 ・がまくんとけんかにならなかった。 ・かえるくんがお手紙の内ようを打ち明けることもなかったから。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center; color: red;"> <p>↓</p> <p>お手紙を待つ幸せな時間</p> </div> <div style="text-align: center; color: red;"> <p>↓</p> <p>お手紙を早く渡したい</p> </div> </div>	<p>◎各場面の挿絵を提示することで、これまでの出来事とつないで、理由を考えることができるようにする。</p>	⑧
ふかめる	<p>3 1場面のがまくんの悩みから、かえるくんの行動の理由を想像し、ペアや全体で話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>「今、一日のうちのかなしい時なんだ。つまり、お手紙をまつ時間なんだ。そうになると、いつもぼく、とてもふしあわせな気持ちになるんだよ。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お手紙を待つ、ふしあわせな時間をしあわせな時間にしたかった。 ・かえるくんは、しあわせな時間が長いほど、喜ぶと思ったんじゃないかな。 <p>※ 交流後、付加・修正する。</p>	<p>○がまくんのかなしさはお手紙をまつ時間であることを叙述から捉えさせることで、手紙の他に、何をしたかったのかについて考えることができるようにする。</p>	⑩
ふりかえる	<p>4 学びを振り返る活動を行う。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返り、自分の言葉で、本時学習をまとめ、交流することで、学級としてのまとめを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>かえるくんは、(お手紙をまつしあわせな時間を、長い間二人ですごしたかった) から。</p> </div> <p>(2) 振り返りの視点を確認し、学習の振り返りを記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ともだちの () を聞いて、分かった。 ・本文の () を見て、分かった。 ・() について、考えて分かった。 	<p>○まとめの書き出しを提示し、プラス1のふりかえりの視点を提示することで、自分の言葉でまとめ、自分の学びを自覚できるようにする。</p>	⑬